

授業科目 心理測定法

【担当教員名】 松本京介	対象学年	2	対象学科	言語・社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修・選択
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

人間理解の方法の一つとして心理測定法を学ぶ。
心理検査が生まれた背景や考え方、適用上の問題点、配慮事項を理解し、
その上で、集団式の心理検査をいくつか体験し、評価することによって、
心理検査の利点と限界について体得することを目的とする。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

1. 心理学的な測定について理解し、心理測定の実施にあたっての留意点について把握する。
2. 心理検査の種類と特徴を理解し、説明できる。
3. 心理検査のそれぞれについて、結果の利用法、解釈法について習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	心理学的な測定と倫理	1	講義
2	心理検査の種類と特徴	2	講義
3	人格検査（質問紙法1）	3	講義 実習
4	人格検査（質問紙法2）	3	講義 実習
5	人格検査（作業検査法・投影法）	3	講義
6	知能検査	3	講義
7	描画検査	3	講義 実習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	心理検査の実際	澤田丞司	新興医学出版	2004年 4200円+税
参考書				
その他の資料	適宜プリントを配布する。			
【評価方法】 定期試験 出席状況		【履修上の留意点】 週によって内容が異なるため、欠席がないようにしてもらいたい。		